

害獣として憎まれている鹿との共生を 考える多様な関わりしろのデザイン

活動地域  宮城県



鹿には鹿の交通ルールがきつとある

課題

人間都合で命を翻弄され、今また害獣の名の下に大きく数を減らされようとしている二ホンジカと共生するとはどういうことかを考えること。

目標

地域内外での事業参加者が鹿への理解を深めるとともに、新たな関わり方をデザインすることで、同じ環境の中に生きる生命同士として、共生の在り方が多様になるよう模索する。



今後の
展望

「もやもや食堂」いう鹿を料理し食べながら共生について考える、という取り組みを通じ、答えのない問いに対する問答を繰り返し、野生動物は数で管理すれば万事解決という風潮へのカウンターとして機能できればと考える。

復興支援助成

2年目

実践

活動内容と成果

害獣としてのイメージが強い鹿の新たな一面を引き出すためにクリエイターと協働し、人と鹿の暮らしが交わる場所を中心にフィールドワークを進めて、コマ撮り動画を制作した。その動画を用いて、獣害を受ける体験農園で農家さんの生の声を聞いてもらいながら、時に鹿料理を食べてもらいながら観てもらい、鹿と人との共生についてざっくばらんに話していく時間を設けた。獣害は解決しなければならない命題という世の中の的に陥りやすい構造から脱し、野菜を食べることと鹿の命の関係等に話が広がるなど、新たな見方の萌芽を感じた。



冬の食卓に並ぶ枯れ草

と体の環境負荷軽減の
仕組み開発

1件

自家消費を
増やすための解体講座

24人

今年度計画の達成度

80%

目標達成度

40%

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

答えのない問いや矛盾をそのまま伝えることや、参加者にもモヤッとした気持ちになってもらうことに苦心した。

工夫した点

対立構造に陥らないことと、世の中の正解を盲信しないために、ユーモアと様々な見方への肯定感を醸成するよう努めた。



〒986-2354

宮城県石巻市桃浦字蛤浜18

HP: <https://www.hamaguridou.com>